

今期のテーマ

I T C (国際) : Leading the Way...

“through shifting winds, changing tides, and oceans of opportunity”

先頭を切って… 潮の流れを変えて、機会的大海原へ漕ぎ出しましょう

日本リージョン: 「見上げて 共に進もう」 “Upwards and Onwards Together”

カウンスルNo.7: 「WITH YOU ～共に成長・共に成果を～」

## カウンスルNo.7 第29期会長 柴田 久実子

今期、「WITH YOU～共に成長・共に成果を～」のテーマでスタート致しましたカウンスルNo.7第29期の活動も終盤を迎える頃となりました。No.7の皆様には今期、様々な役割を通して、貴重な経験と学びから何らかの成長・成果を実感なさっていらっしゃることでしょう。自分自身を振り返ります時に、いつもこれでよいのだろうかと感じながらも「皆様と共に成長する」との切なる思いで務めて参りました。

第1回会合では、「共に語り合う」のテーマのもと、各クラブ会長が、自クラブの抱える課題から命題としての年間テーマを発表し、また第一副会長には、そのテーマを深く汲み取り、それをどのように展開させるのか、企画された教育・プログラムを発表することを試みました。これは、それぞれの発表を通してカウンスル全体で共有することを目的といたしました。会長、第一副会長の役職はそれぞれ明確な役割・目的を持っていることを学びました。すべての例会、会合を終えようとしている現在、この学びをぜひ来期へと繋げて頂きたいと思っています。

第2回会合では、「共に響き合う」のテーマのもと、スピーチコンテストを開催致しました。それぞれのスピーチは秀逸で、且つ甲乙付け難く、会場全体が響き合うことが出来ました。

第3回会合では「共に歩もう」のテーマのもと、元「文藝春秋」各誌編集長の高橋一清様に講演をして頂きます。「わたしの出会った作家たち」というテーマは、高橋様が人を愛し、人生を賭しての人との拘わり方などお話し下さいます。お楽しみになさって下さい。

第29期役員会は、「チーム7」として心をひとつにし、カウンスル運営を進めて参りました。この1年間、皆様から頂きましたご協力、お励ましに心より感謝を申し上げます。ぜひ皆様も機会がありましたらカウンスル役員会の一員となり運営を担ってみられませんか。

新たな出会いがあり、新たな発見がご自身を成長させることでしょう。



# WITH YOU特集Ⅲ

## ～共に成長・共に成果を～

# 達成プログラム



## 鳥取クラブ

ディベート:テーマ「成人式は廃止すべきである」

鳥取クラブは、久しぶりにディベートに挑戦しました。慣習となっている行政主催の成人式の在り方について話し合いました。「もっと若者の責任感を促すイベントに税金をかけるべきでないか。」「社会人としての自覚を促すために必要である。」など、肯定側・否定側のディベーターはチームワークと雄弁さを競いました。

物事の表と裏の両面を一生懸命理解分析して意見を戦わせるディベートは、お互いに気持ちよく勝敗のつけられるコミュニケーションの訓練の機会でした。

会長 吉岡 きよ乃



## 米子クラブ

ITC80年の軌跡 歴史「ITC80年の歩み」(日本リージョン34期教育資料)を10月例会で紐解きました。会員が順番に声に出して読み、記載されているold nameからも歴史を感じ取ることが出来ました。ITCの理念、ビジョン等を今更のように再確認し、先人たちの努力の軌跡を学び、感慨も一入でした。

又、会員が保持しているバッジを回覧して手に取り、いにしえを忍びました。リーダーを務めた会員の豊富な知識や説明も加味され、まさにITC創立記念月に相応しく、カウンスルテーマWITH YOUを確かめ合った有意義なプログラムでした。

会長 住田 実寧子

## 倉吉クラブ

5月野外例会で鳥取市鹿野町の「鳥の劇場」へお邪魔して、芸術監督の中島諒人先生による「劇場と演劇がひらく未来」という講演とワークショップを受講しました。演劇の基礎のレッスンでは、会員が童心に帰ったような笑顔で声を出し、体を動かしました。即興芝居のレッスンではヨットやピアノになるなどのお題を出され、グループで即座に無言で一人一人が何をしようとしているかを察して表現をしました。皆が心をつなげてお芝居の世界に触れることで、新たなコミュニケーションの力を得ることができ、大満足でした。

会長 小倉 恵子



## 米子マンデークラブ

「学ぶ事の楽しさを一人一人が実感し共に成長していく」というテーマを掲げました。実践としてパワーポイントを使っのプレゼンテーションをしました。

趣味、自分の楽しみ、思い出など写真やイラストを使ってスライドを作り発表しました。写真や文字が回転したりびよーんと動いたり、上級者は音楽を入れたり、作る過程も楽しめました。会員の大半がパワーポイントを使えるようになり、共に成長出来たプログラムとなりました。

会長 竹川 奈保子



## 出雲クラブ

今期全員が認知症サポーターとして登録して頂き、証(あかし)にオレンジリングを頂きました。当クラブ会員で講師を務める森本幸子会員の尽力で、森本会員の「認知症サポーター養成講座から」とする教育と、島根県立大学副学長山下一也様からの「認知症治療の最前線」の講演を聞くことによって認定して頂いたものです。正しい知識を持ち認知症の方やご家族の方に対して良き理解者になる事の大切さ、また自分の家族や、もしかして自分がそうなった時に備えていく事の大切さをクラブ全体で考えたひと時でした。

最後に山下先生から認知症予防に効果的な生活習慣として次の5点を教えて頂きましたので皆様にもご紹介します。①散歩、一週間に三回以上30分以上②野菜、果物、魚③緑茶④若い頃から脳の機能をしっかり使う⑤社会的なつながりが豊かな生活。いかがでしたか? ITC会員の皆様なら、きっとクリアなさっていることでしょう!

会長 都間 ゆかり

## とっとり砂丘クラブ

5月例会の教育で、情報を伝えるスピーチの円卓評価をおこなった。

この意図は、評価過程の充実。そして、円卓で行うことにより全会員を巻き込むことである。また、新しい会員においては、一つの役割を与えられることにより評価の訓練を始めるのにとっても良い機会となるであろうと考えた。

成果としては、他の会員の評価を聞くことにより、なお一層踏み込んだ自身の聴く力の必要性を感じた。共に学ぶ会員同士の円卓評価はとても楽しかった。

会長 吉川 桂子



## WITH 議会法規役員

ITCにおいては、いずれのレベルでも大切な役割を担う「特別委員会」について識っておきましょう。

特別委員会とは、必要が生じた時に特定の任務を遂行するために設置される委員会で、その任務が完了したとき一つまり、その委員会が会議に最終報告書を提出した時に、自動的に消滅する。特別委員会は、現存する常設委員会に割り当てられている職務に含まれる任務を遂行するために、設置されるべきではない。(ロバート議事規則P.406)

その構成については、設置目的が審議や調査のための場合は、大規模なものである方がよい場合が多く、その意見が最大限の重みをもつように、すべての立場を可能な限り代表すべきである。一方、会議の命令を実施するために設置される場合は、小規模なものにすべきである。(ロバート議事規則P.411)

第29期議会法規役員 秦野 順子

## 第29期 第3回 会合案内

第3回会合テーマ「共に歩もう」のもと、今期最終会合を開催いたします。ビジネス終了後に役員就任式を行い、閉会後にはCMTを開催しますので、よろしくお願いいたします。

待望のプログラムは、元「文藝春秋」各誌編集長 高橋一清様による「わたしの出会った作家たち」と題して講演が行われます。高橋様は、文藝春秋での38年間文藝担当の編集者として無名の新人作家を数多く芥川賞・直木賞へと導かれました。そしていくつもの名作話題作を世に送り出しておられます。勇退された後も編集者魂は燃え尽きることなく、今なお文藝編集者としてご活躍なさっています。どうぞ薫り高い文学の世界をお楽しみください。

第一副会長 矢部 三保子

## 第29回 スピーチコンテスト「日本語の部」入賞者紹介

第29回スピーチコンテストは、話し手と聴き手、会場全体が響き合い、深い感動を残し、無事終了した。



### 第1位

**竹内 ひとみ** 会員  
(鳥取クラブ) 写真中央  
● 論題/チャンス  
● 題目/見える

### 第2位

**浜田 一恵** 会員  
(米子クラブ) 写真左  
● 論題/継承  
● 題目/終活のすすめ

### 第3位

**中井 明子** 会員  
(倉吉クラブ) 写真右  
● 論題/変身  
● 題目/幸せへの道

## 各クラブ会員数 2017年6月28日現在の会員数144名

鳥取	米子	倉吉	米子マンデー	出雲	とっとり砂丘	合計
29名	13名	32名	19名	31名	20名	144名

● 新入会員/井上ドミニク(鳥取クラブ)・森田 敦子(鳥取クラブ)・藤縄 裕子(とっとり砂丘クラブ)・川島 美智代(とっとり砂丘クラブ)

## 編集後記

今年年間テーマ「WITH YOU～共に成長・共に成果を～」に視点を置いてカウンスル No.7の活動と活躍をお届けしてまいりました。ご協力頂いた皆様に感謝いたします。

編集: 出雲シスターズ(遠藤玲子 菊地栄美子 山本美帆子)